

第2回 ヒノヒカリの苗 植えたよ！ 田植え体験

月 日：令和5年6月9日（金）

場 所：三重大学附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附属施設農場
（三重県津市）

参加者：三重県津市立 大里小学校 5年生 38 名

三重大学の先生からお米の話をききました。

「日本の食料自給率は39%と低いんだよ。近年、国民1人当たり1年のお米の消費量が減少しているけど、お米は、小麦・とうもろこしと並んで世界三大穀物と言われているものの一つで、日本人の主食お米の品目別食料自給率としては、ほぼ100%と非常に高いんだよ。」などの話がありました。



田植え体験では、三重大学農場で育てている“ヒノヒカリ”という品種のお米を植えました。「苗の生長点は、触ってはいけないよ！」と注意点を聞きながら、稲の苗のかたまりから数本を取り分けて植えました。初めての体験で泥だらけになったけど、田植えの仕方や注意点などがよくわかりました。



（子どもたちの声）

「泥だらけになったけど、田植えを友達と協力してできてよかった。」

「田植え機に乗れて、機械の操作をしたのが楽しかった。」

「どうやって苗を植えるのか、どこを大切に植えるのかを知ることができてよかった。」

～先生の感想～ 事前学習してから田植えをしたので、実際に生産している人の話がよくわかった。また、子どもたちが、普段できない手植えの体験や、田植え機に乗ることができてよかった。（5年生担任）

